

◎ 定例会 「春を楽しむ会」 4月1日(木) 晴れ 参加者 18名
～暖かな日差しを浴びて花々を楽しみながら、穏やかな一日を満喫しました～



「春を楽しむ定例会」をどのように企画しようかと色々模索致しましたが、やはり4月の例会ではサクラが外せません。近年、都区内ではソメイヨシノが3月下旬に満開となるので、人出の点でコロナ禍の危険が比較的少なそうで、また開花が遅くなりそうな郊外方面で例会の候補地を模索していた所、当会で「ウォーキング花見会」として平成14年に歩いた、葉桜の羽村取水口の園地に再挑戦しようと閃きました。更に周辺地の観光イベント

をネットで調べた所、「根がらみ前水田」※のチューリップフェアが近い場所でこの時期に催される事を知り、2月下旬の下見を経て今年の例会コースが確定されました。

今回は幹事4名の他に、14名の会員のご参加を頂きましたが、例会日は暖かめで晴れの好天に恵まれました。10時55分に集合地点のJR青梅線「羽村駅」をマスク姿で出発し、先ずは「根がらみ前水田」※のチューリップ畑へと向かいました。11時20分に到着したチューリップ畑は約500m四方の広さ一面に色や柄の様々なチューリップが植えてあっ



て、本日は80%位の開花度のように感じました。今後は球根を育てて収穫した後はお米の田圃に変わるようです。各色の花を楽しんだ後は、すぐにソメイヨシノが咲く多摩川の堤防に上がって、程なく河原の芝生地に輪型に囲んで、楽しい昼食休憩タイムと致しました。ここは花見の通行人の道から離れた平地なので、コロナウィルスとは無縁のスペースです。陽光下に堤防沿いに植わっているサクラを眺めながらの味覚を楽しむ事が出来て、本当に嬉しいひとときになりました。

13時頃に輪席を畳み、近くの堤防斜面に自由に並んで記念写真を撮ってから、桜咲く堤防上の道を取水堰に向かって進



むと約 15 分で堰に到着したので、多摩川や取水された玉川上水の水流を満開の桜並木から眺めて暫時休憩しました。その後、羽村駅に向かう公道を、三々五々と歩行の群れは分かれましたが、14 時丁度に全員無事羽村駅に着いたので、ここで流れ解散に致しました。ご参加の皆様方にはご協力有難う、またお疲れさまでございました。

報告：久松 博芳